



本製品はエンジン回転数を表示するアナログメーターです。本製品お取り付けの前に本取扱説明書、及び取り付けの車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、本製品(および本製品の取り付けられている車)を他の人に貸し出したリ譲渡する場合は、取扱説明書も必ずお渡しください。  
 なお、最新のエンジンコンピュータ配線図は当社ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

<http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/> '08.06-2

### 取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)

#### 安全、取り付け、取り扱いに関するご注意

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

<b>危険</b>	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
<b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
<b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
<b>確認</b>	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

- 危険**
- 作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になり大変危険です。
  - 配線作業中は必ずキーリングから鍵を抜き、バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
  - シートベルトやエアバッグなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線による燃焼に充分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
  - 配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップかギボネスを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかるところは、緩衝材やコイルゲルトチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
  - 電源配線時、IGNハーネス接続ラインの車庫側に30A以下のヒューズがあることを確認してください。30Aを超えるヒューズの場合、ショート故障の際に溶断せず火災の原因となり大変危険です。
  - 電源ハーネスのヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。

- 警告**
- 取付箇所・取付方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けないでください。誤った取付箇所・取付方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
  - 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障や事故の原因となります。
  - エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
  - 必ず既存の配線に影響が出ないように配線を行ってください。車両のコントローラーなどが破壊する恐れがあります。
  - 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込み等の恐れがあります。

- 注意**
- 12V仕様車専用です。12V車以外には取り付けしないでください。
  - 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクタ等、新たに配線したもなどは必ず正しく組みつけ、固定してください。
  - 本製品に過大な力をかけたり、ぶついたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
  - 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
  - 本製品付属のハーネス以外で配線しないでください。破損の原因となります。
  - 容量・強度を確認してください。
  - 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
  - ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズはメーター誤動作の原因となります。
  - ハーネスは、エンジン、排気管、過給器付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。
  - ハンダ付けで火傷をしたり、配線に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。
  - エンジンルーム内で、配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。
  - コード、特にコネクタ部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクタを外す際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。
  - 助手席にエアバッグがない場合、助手席側のインストールメントパネルにメーターを埋め込まないでください。車両の保安基準に適合しません。

- 確認**
- 取り付けは必ず本書に従ってください。
  - バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される場合があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
  - 取り付け作業が終了したら、本取扱説明書(保証書)とパッケージは必ずお客様にお渡しください。
  - 指針が真下から動いている場合がありますが、異常ではありません。通電すれば正常動作します。
  - ナビゲーションシステムやカーナビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離して本製品の配線、取り付けを行ってください。近付いたり、ハーネスを一纏に束ねたりするとテレビ表示(VHF)に影響を与える場合があります。

### 取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)

- 警告**
- 本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。
  - 本製品を絶対に改造や分解しないでください。故障や事故の原因となるだけでなく保証の対象外となります。
  - 走行中は安全のため本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
  - 「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかった」「煙が出た」「変な匂い」がするなどの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
  - 操作は車を停止して行ってください。

- 注意**
- 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接的損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  - コード、特にコネクタ部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクタを外す際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。また、コネクタによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。

- 確認**
- Defi-Linkシステムとリンクさせることはできません。
  - エンジン回転数の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。
  - 対応気筒数は1・2・3・4・5・6・8気筒の4サイズクラスです。詳細は仕様を参照してください。ディーゼル車ではエンジン回転数表示できません。
  - 電源・信号の配線については車種別接続ガイドを併せてご覧ください。最新の情報はホームページの車種別接続ガイドをご参照ください。

### 保証書(お客様・取り付け業者様へ)

本書は本書記載内容(保証規程)で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に正常な使用状態で異常が発生した場合には、本書をご提示のうえお買い上げ頂きました販売店に修理をご依頼下さい。記入のない場合は、保証できない場合があります。※ご購入いただいた情報は、本製品の点検・修理のために使用し、その他の目的で使用するは一切ございません。また、その情報が第三者に提供されることはありません。

形名		DF07	製造番号	_____	お買い上げ日	年 月 日	_____
お客様様	ふりがな	_____	お名前	_____	保証期間	1年	_____
	〒	_____	〒	_____		住所	_____
お取り扱い販売店名・住所・電話番号				<b>日本精機株式会社</b> 〒940-2141 新潟県長岡市藤橋1-190-1 R&Dセンター Defi事業部 【電話番号】(03)3835-3639 【FAX番号】(03)3834-8116 【受付時間】9:30~12.00, 13:00~17:00 (土・日曜・祭日、当社休日を除く平日) <a href="http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/">http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/</a>			

### 保証・アフターサービスについて(お客様・取り付け業者様へ)

本製品を使用されて発生した運反、事故等に関するもの、誤配線等、本製品の製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

- 警告**
- 危険ですから自分では修理しないでください。故障・事故の原因となるだけでなく保証の対象外となります。
- 【保証書】  
 本製品は保証書の内容に従って保証されていますので、よくお読みになり記入事項をご確認の上、大切に保管してください。
- 【保証期間】  
 ご購入から1年間です。詳細は保証規程をご覧ください。
- 【修理をご依頼される時】  
 ①修理をご依頼される前にこの取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の表に従って調べて頂き、それでも直らない時は②の処理をしてください。  
 ②「ご購入頂いた販売店」にご相談ください。転居等で販売店への依頼が困難な場合は、日本精機(電話番号は、保証書内に記載)にご相談ください。  
 ※保証期間中の場合、修理品には必ず保証書を添付してください。  
 ※保証期間中であっても、修理品の輸送にかかる運送費はお客様の自己負担となります。  
 ※故障と思われる症状、車種(年式、型式)、販売店名などをできるだけ詳しくお書きください。

### 主な特長(お客様へ)

- ST26Aステッピングモーター採用  
最大振れ角270°を4600分割(0.057°)のマイコン制御により広振れ角・高精度を実現。ありとあらゆるプロモーターズパーツに耐えうるクイックレスポンス。
- IGN ONで目覚める自発光式メーター  
ブラックアウトされたメーターパネルが、IGN ONするとLEDにより浮かび上がる。赤色発光指針と発光文字板を組み合わせることで、ハイコントラストで鮮明な視認性を確保。
- 「オープニング」、「エンディング」、2つのセレモニーで演出  
IGN ON/OFFに連動して、文字板、指針、各LEDが点灯/消灯のセレモニーで演出。
- 昼夜独立5段階調光機能  
昼5段階、夜5段階+減光キャンセルの独立した照明の輝度調整が可能。また、夜はイルミスイッチ連動で減光。
- 音と光で警告するダブルワーニング  
2段階のワーニング値を設定し、設定値を超えるとブザー音と共に文字板のLEDが点灯/減速でメッセージ。
- 専用の大型インジケータ付属  
文字板のLEDとは別に、緑と赤で光る大型インジケータ付属によりワーニングの繊細性が一層向上。
- ピークメモリー機能  
走行中のピーク値をメモリーし、走行後に確認可能。
- 脱着可能専用スイッチ  
メーター周囲に固定でき、取り外し可能な夜間照明付き大型スイッチ。
- 専用取付バンド&バックケース  
専用取付バンドによりメーターをしっかりと固定。  
メーター表面を美しく見せる、ハーネス収納可能な専用バックケース。
- レプリアダプター内蔵  
レプリアダプターを内蔵することで、車両内制御機器間のシリアル通信化によりタコメーター用の回転数信号が取れない車両にも取り付け可能。(詳細は車種別接続ガイドをご参照ください。)

### ラインナップ(お客様へ)

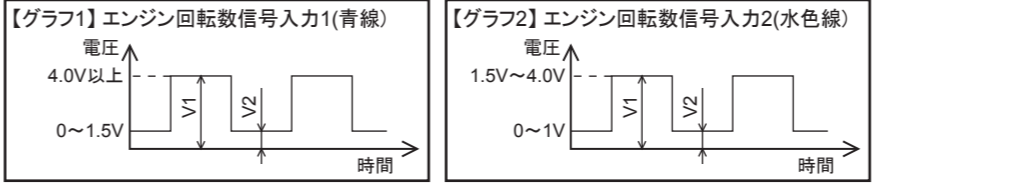
BFタコメーター		
品番	表示範囲	文字板発光色・スイッチ照明色
DF07401	0 - 9000RPM	ホワイト
DF07402	0 - 9000RPM	アンバーレッド
DF07403	0 - 9000RPM	BFブルー
DF07501	0 - 11000RPM	ホワイト
DF07502	0 - 11000RPM	アンバーレッド
DF07503	0 - 11000RPM	BFブルー

ブルーレーサーゲージタコメーター		
品番	表示範囲	文字板発光色・スイッチ照明色
DF07101	0 - 9000RPM	レーサーゲージブルー
DF07201	0 - 11000RPM	レーサーゲージブルー

### 製品仕様(お客様・取り付け業者様へ)

電源電圧	DC10V~15V(12V車専用)
消費電流	+B(赤)線 MAX 0.4A(暗電流 0mA)
	IGN(橙)線 MAX 0.4A
	ILM(白)線 MAX 2mA
動作温度範囲	-20 ~ +60℃(湿度80%以下)
保存温度範囲	-40 ~ +80℃(湿度80%以下)
対応気筒数	1・2・3・4・5・6・8
対応エンジン回転数バルス	エンジン回転数信号入力1(青線) V1) 4.0V以上 V2) 0~1.5V 【グラフ1】参照
	エンジン回転数信号入力2(水色線)V1) 1.5~4.0V V2) 0~1.0V 【グラフ2】参照
表示範囲	ラインナップ参照
外形(mm)	寸法・各部の名称参照
総重量	820g(メーター本体・スイッチ・ハーネス・付属品・パッケージ含む)

※1)エンジン回転数信号波形がグラフ1、またはグラフ2を満足することが条件です。  
 (取り付け方法の「電源・エンジン回転数信号ハーネスの配線」、車種別接続ガイドもご参照ください。)



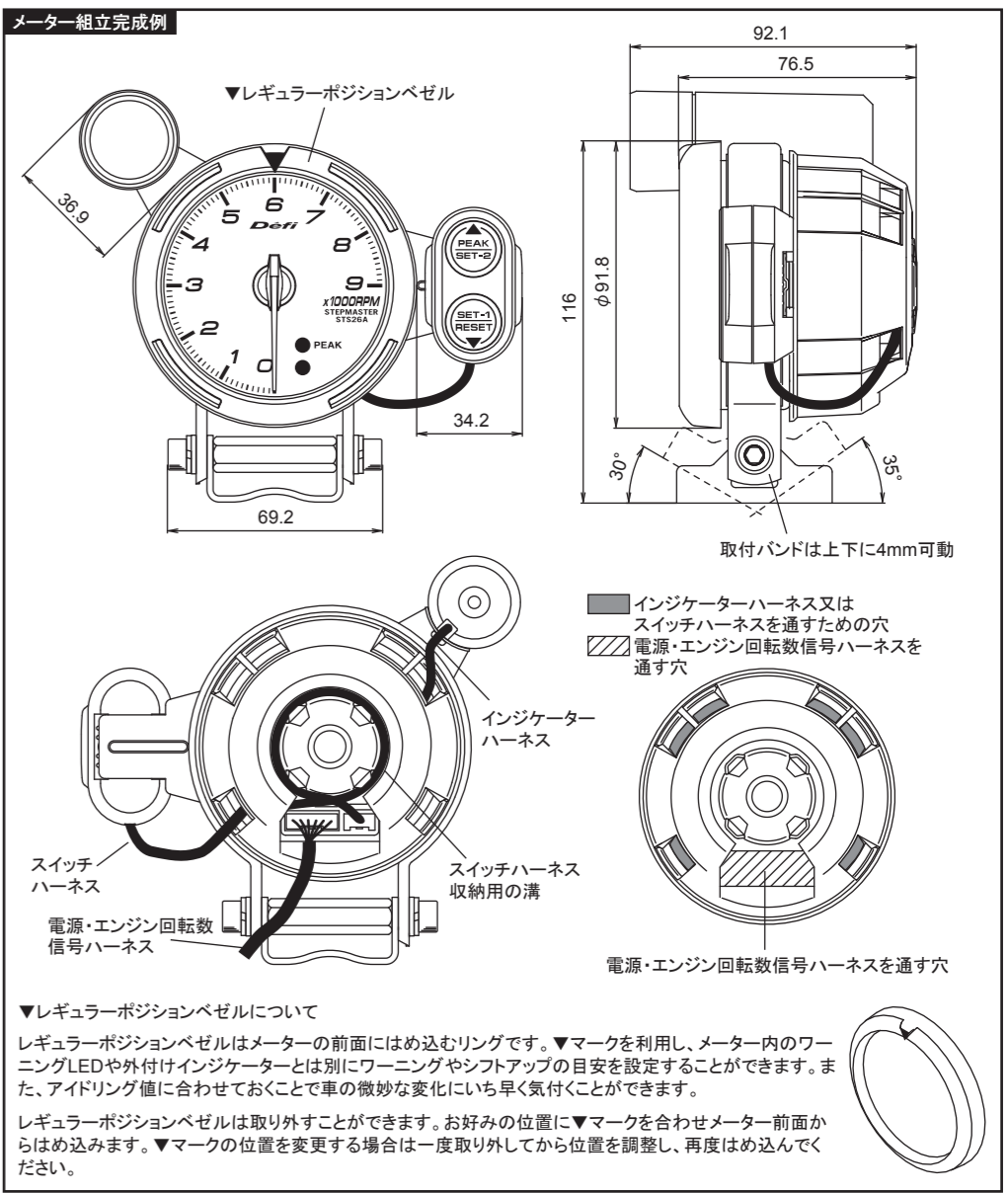
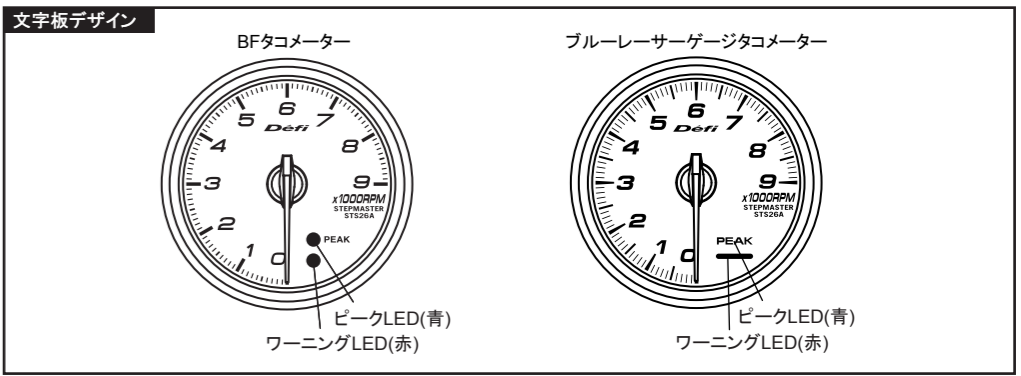
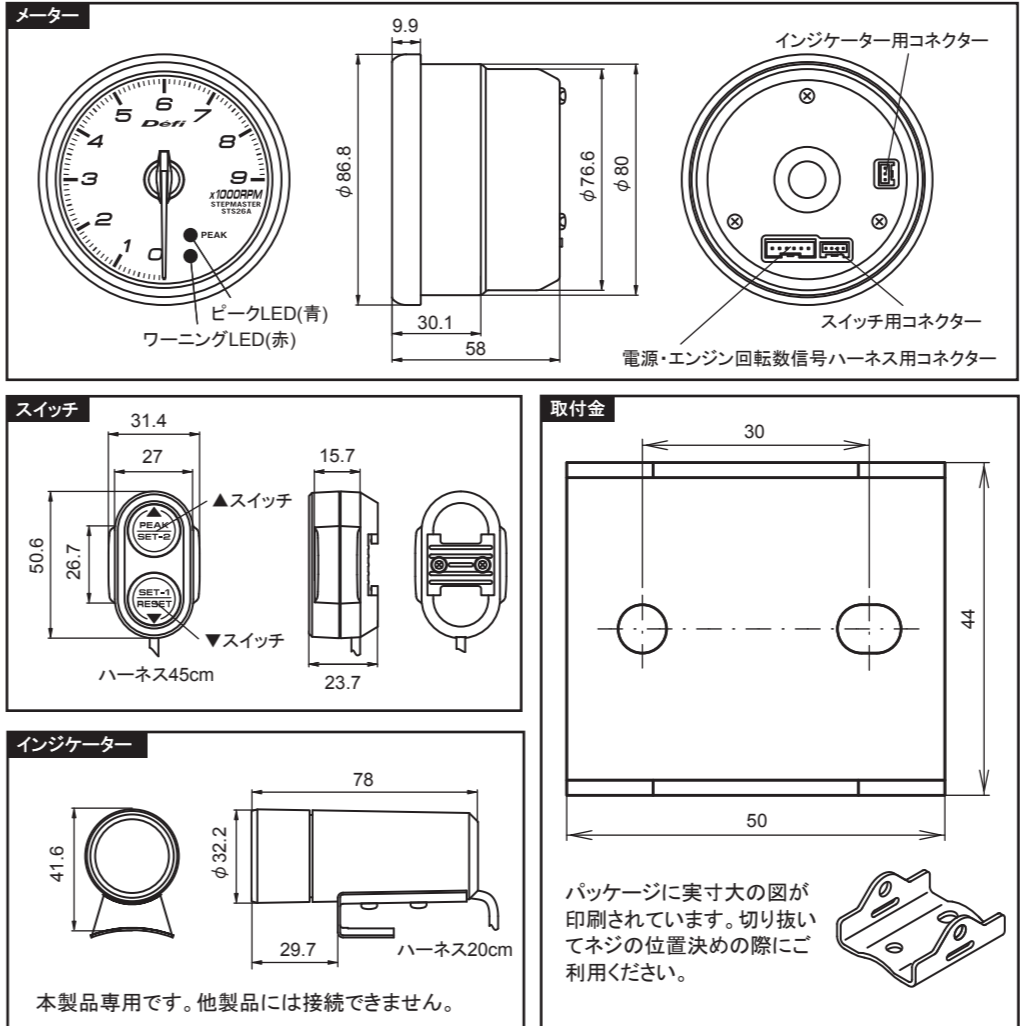
### 部品表(お客様・取り付け業者様へ)

本製品は、下記の部品で構成されています。取り付け前に部品をご確認ください。また、取付した場合は補修パーツを販売しておりますので、Defi製品取扱店にご相談ください。  
 ※下記部品の他に、英文取扱説明書と英文保証規程が同梱されていますが、日本国内では無効です。

品名	個数	品名	個数
①メーター本体	1	⑫取付金	1
②スイッチ(ハーネス45cm)	1	⑬スイッチ固定ステー	1
③レギュラーポジションペゼル	1	⑭M6ボルト	2
④バックケース	1	⑮スプリングワッシャー	2
⑤取付バンド	1	⑯ワッシャー	2
⑥取付ゴム	1	⑰スペーサー	1
⑦電源・エンジン回転数信号ハーネス(2.2m)	1	⑱モルトブレン	1
⑧インジケータ(ハーネス20cm)	1	⑲両面テープ	1
⑨取扱説明書(本書)	1	⑳タッピングネジ	2
⑩車種別接続ガイド	1	㉑エレクトロタップ	5
⑪アンケートハガキ	1		

補修パーツ(お客様へ)		
品名	品番	税込価格(円)
Φ80バックケースセット (バックケースx1、モルトブレンx1)	PDF07101G	1,680
電源・エンジン回転数信号ハーネス	PDF07102H	1,680
Φ80取付バンドセット (取付バンドx1、取付ゴムx1)	PDF07103G	2,100
Φ80取付金セット (取付金x1、M6ボルトx2、スプリングワッシャーx2、ワッシャーx2、スペーサーx1、タッピングネジx2)	PDF07104G	1,680
Φ80レギュラーポジションペゼル	PDF07105G	1,050
電源ハーネス用管ヒューズ(1A) 2ヶ入り	PDF07113G	315

### 寸法(mm)・各部の名称(お客様・取り付け業者様へ)



### 取り付け方法(取り付け業者様へ)

- 警告**
- 取り付け・取り扱いについては、「取り付け作業をする前に」、「取り扱いに関して」をよくお読みいただき、安全に正しくお取り付けください。誤った取り付け箇所、取り付け方法は、脱落や車両破損の原因となり大変危険です。
- 注意**
- 無理にコネクタを引っ張ると、断線したりコネクタが破壊する恐れがあります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。
  - 部品をぶついたり、こすり合わせると、傷が付いたり腐食する恐れがありますので、注意してください。
  - 電源・信号の配線については車種別接続ガイドをご覧ください。

#### ステップ1 電源・エンジン回転数信号ハーネスの配線

- 車両のバッテリーマイナス(-)ターミナルを外してください。2) 車種別接続ガイドを参照し、下図のように電源・エンジン回転数信号ハーネスの各線を配線します。  
 電源・エンジン回転数信号ハーネス(2.2m)  
 管ヒューズ1A  
 赤線: +B(常時電源、常に12Vの線へ)  
 黒線: GND(アース、バッテリーマイナス)  
 橙線: IGN(イグニッションONで12Vの線へ)  
 白線: +ILM(スモールランプONで12Vの線へ)  
 青線: エンジン回転数信号入力1 => [A]または[C] ※[C]の場合は別途DF06302レプリアダプターの購入が必要(レプリアダプターが不要な車種とDF06302レプリアダプターが必要な一部のマツダ車に使用)  
 水色線: エンジン回転数信号入力2 => [B] (DF06301レプリアダプターが必要な車種の場合に使用)
- ※エンジン回転数信号の配線には青線か水色線のいずれか1本のみを使用します。車種別接続ガイドでレプリアダプターの要否をご確認いただき、どちらか適切な1本を配線してください。使用しない線は絶縁テープなどで必ず絶縁処理してください。  
 A)レプリアダプターが不要な車種  
 => 青線をエンジンコンピュータ(ECU)のエンジン回転数信号コネクタへ配線してください。  
 B)DF06301レプリアダプターが必要な車種(日産、三菱、スバルの一部)  
 => 水色線をECUへ配線してください。製品にレプリアダプターの機能が含まれているため、別途購入の必要はありません。  
 C)DF06302レプリアダプターが必要な車種(マツダの一部)  
 => 青線を使用しないでください。別途DF06302レプリアダプターが必要です。Defi製品販売店にてご購入ください。  
 ※Defi-Link製品を車両に取り付けている、またはこれから取り付けの場合は、同じ位置から電源の配線をしてください。同じ位置から配線することでオープニング・エンディング動作が同じタイミングになります。別の位置から配線するとタイミングがずれる場合があります。
- 車両のバッテリーマイナス(-)ターミナルを接続してください。

#### ステップ2 配線確認

- メーター本体の裏面に電源・エンジン回転数信号ハーネスのコネクタを接続します。2) イグニッションキーをONし、オープニング動作をする(メーターの照明が点灯し、指針が動く)ことを確認してください。(詳しいオープニング動作はご使用方法の機能参照)  
 ※次のステップでメーター本体を取り付け固定しますが、取り付け時にはメーターの照明が点灯しません。照明が点いている状態で文字板のゼロの位置を確認してください。緑色状態で指針はゼロを指していないことがあります。一度通電してからイグニッションをOFFするとゼロに戻ります。
- スモールランプをONし、メーターの照明が暗くなることを確認してください。
- イグニッションキーをOFFし、エンディング動作をする(指針がゼロに戻り、メーターの照明が消える)ことを確認してください。(詳しいエンディング動作はご使用方法の機能参照)
- 次のステップでメーター本体を車両に取り付けるため、一旦電源・エンジン回転数信号ハーネスをメーターから外します。

裏へ進んで、ステップ3ではメーター本体を取り付けます⇒



